

質疑および一般質問

6月定例会では6月17日と20日に、18人の議員が、議案に対する「質疑」や市政に関する方針や考え方などについて聞く「一般質問」を行いました。その質問項目の一部を掲載いたします。

中島 一廣

草政会

●マニフェスト完遂に向けた取り組みについて

・草津川跡地利用の全線、防災機能を兼ねた道路機能の考え方、利用を推進するうえで県との役割分担の確立について問う

●自治体基本条例について

・条例の施行日に沿って市民参加に関する条例案への取り組み、および推進体制について問う

木村 辰巳

新生会

●大規模太陽光発電（メガソーラー）誘致を

・誘致する環境づくりを市民と共に進めるように
・家庭での太陽光発電設置に、再度大幅な補助金制度を復活されたい

●人権政策の見直しに関する基本方針について

・市長の三現主義が人権政策のどこに表れているのか
・人権施策の成果を市内全体に広げるべきだ

竹村 勇

くさつさく

●志津地区内の南北横断道路について

●生活道路の拡幅整備推進の必要性について

●草津川上流部の平地化促進について

●都市公園（ロクハ公園）について

・グラウンドゴルフのエリアおよび川原池周辺部の散歩コース開放について

●地域防災対策の見直しおよび原発事故に対する対応について

宇野 房子

市民派クラブ

●まちづくり協議会の構成団体に属さない方々への交付金の説明はどうするのか

●行政事務委託料について

・募金・共済等の取りまとめは行政事務なのか
・更に行政事務委託料の透明化を推進する考え方は
・行政事務委託料を交付金に変える予定はあるのか
・自治会未加入者への広報等の配布について

中嶋 昭雄

草政会

●危機事態発生後の対処方法について

・原子力災害の想定をどのようにしているのか
・節電対策補助などの創設をしてはどうか

●ごみの分別区分の見直し等について

・取り扱いのない地域の具体的対策はどうか

●地元が管理している公園のあり方について

・管理補助の創設ができないか

奥村 次一

くさつさく

●まめバスの今後について

・現在の利用状況と今後の利用計画について

●学校給食センターの地産地消について

・前回の取り組みからの進捗状況について

●生ゴミの資源化について

・草津市としての考え方について

●平成32年以降の草津市の方向性について

・不良債権団体にならないための考え方について

杉江 昇

新生会

●特色ある学校づくりについて

・老上小学校の施設の状況について
・老上学区における小中一貫教育について

●新産業に対する市の体制について

・研究に対して協力する方法について
・産官学の協働について
・新聞記事の市長の感想について

藤井 三恵子

日本共産党草津市会議員団

●小児救急医療体制の充実について

・小児救急医療センターの事業停止の原因と今後の対策について

・広域的な診療体制の必要性について

・市民の意見を聴き体制の充実を図ることについて

●女性の目から見た防災計画の充実について

・計画策定に女性参画の比率はどうか

西村 隆行

公明党

●「被災者支援システム」について

- ・被災者生活再建へのシステム導入を要望する

●「草津川跡地利用」について

- ・教育行政の観点からの提案について
- ・高齢者福祉行政の観点からの提案について
- ・地域活性化行政の観点からの提案について
- ・市長のリーダーシップについて

棚橋 幸男

草政会

●協働のまちづくりの取り組みについて

- ・全学区・地区に協議会ができる見通しは
- ・協働の推進に、条例や事業の後援のルール必要性は
- ・防災備蓄倉庫の整備の取り組みに、まちづくり協議会の声を聞くべきでは

●矢橋帰帆島の土地利用について

- ・スポーツレジャー施設等の整備はどうなるのか

●小児救急医療センターの取り組みについて

西田 操子

市民派クラブ

●「子どもが輝く教育のまち」の取り組みにおける成果について

- ・「学力向上プログラム」の各学校の成果と課題について
- ・電子黒板を利用した授業の課題と効果について

●介護保険第5期計画とニーズ調査実施分析と成果について

- ・第5期計画の施設、居住系サービスの考え方と整備数の配分の考え方について

瀬川 裕海

草政会

●震災について

- ・本市における震災の影響について
- ・今後の被災地復興対策について

●節電対策について

- ・市庁舎、市施設の対応について
- ・学校関係の空調について
- ・節電対策と熱中症について

中村 孝藏

新生会

●野村団地跡の解体後の展望について

- ・地下に備蓄倉庫の建設や飲料水兼用の防火水槽、また老若男女の憩える公園を希望することについて

●自転車通学における子ども達の指導について

- ・朝のラッシュ時、自動車とバイク、自転車と歩行者が入り乱れて大変危険で、特に中学生のマナーが悪い

●地震の際におこる液状化現象について

西田 剛

くさつさく

●草津市の障害者福祉について

- ・相談支援事業について
- ・ピアカウンセリングについて

●小学校の教育環境の現状と改善について

- ・現在の教育環境における学力・体力・コミュニケーションの充実について

●学区・地域人づくりの必要性について

- ・市民に協働のまちづくり行動計画を浸透させ、目的達成に向けての共通認識を持ってもらうか

大脇 正美

市民派クラブ

●災害復興に備えた地籍調査の取り組みについて伺う

●災害時の行政機能について、市庁舎の電気確保と非常用発電設備のあり方について伺う

●草津市地域防災計画の見直しについて伺う

- ・浄水場施設、配水池、水道管の耐震化計画の見直しと、液状化が発生する地域における下水道管の今後の対策方針について

西垣 和美

公明党

●震災後の環境に配慮した施策と節電対策について

- ・今後の公の施設の建築に際しての、環境や防災に配慮した取り組みや設備の導入について

●平成24年度からの本格運行に向けたためバスの実証運行について

- ・利用者の少ない路線の検証と実態の把握について
- ・財源と施策の目的の整合性からなる政策形成について

質問と答弁の詳細については市議会ホームページか、市役所情報公開室（庁舎2階）や市立図書館に配布する9月発行予定の会議録をご覧ください。

久保 秋雄

日本共産党草津市会議員団

●防災問題について

- ・原子力災害規模の想定は福島原発事故レベルの想定を
- ・原子力事故影響の予測システム（スピーディ）の活用を
- ・原発から撤退をめざすべきと考えるが市長の考えは
- ・太陽光パネル設置補助の復活・拡大を

●同和行政の完全終結について

- ・橋岡隣保館の一部職員の異常な残業について

堀 義明

無党派

●東日本大震災と福島第一原発事故にどう向き合うか

- ・県への重点要望の第一項目について
- ・放射能汚染測定器の整備について

●住民票の写し等の第三者交付に係る本人通知制度について

- ・「埼玉方式」をどう評価するかについて
- ・すべての市民を対象とすることの大切さについて

議員提出議案

～1件の提出があり、否決しました～

<否決された意見書（案）> 意見書第2号 原子力発電からの撤退を求める意見書（案）

～議員年金制度の廃止について～

地方公務員等共済組合法の改正案が5月20日の参議院本会議で可決され、成立しました。これにより、地方議会議員の年金制度が6月1日をもって廃止されました。

地方議会議員の年金制度は、昭和37年の創設以来、幾多の改正を経て今日に至りました。しかしながら、近年、全国的に実施されたいわゆる平成の大合併が、大規模かつ急速に進んだことによる議員数の急減に加え、行政改革に伴う議員数や議員報酬の削減が行われたことにより、財政状況が急速に悪化し、平成23年度には年金を含む共済給付金に要する積立金の枯渇が見込まれる極めて危機的な状況となりました。

そのため、総務省及び全国議長会等において一昨年より制度の見直しについて種々検討し、この度の制度の廃止となったものです。

したがって、今後新たに議員となる人には本制度は適用されませんが、これまで掛金を納付してきた現職の議員は、退職一時金の給付を受ける救済措置があります。また在職期間が12年以上の現職の議員は、廃止される前の年金制度と退職一時金の制度のいずれかを選択することができることとなりました。

